

月刊税理士事務所チャンネル

# CHANNEL

会計人のコミュニケーション・マガジン

1

2024 JAN.  
No.509

特集

## 「第47回全国統一研修会 大阪大会」開催報告

ミロク会計人会連合会 役員  
ミロク情報サービス代表取締役社長 年頭挨拶——2  
ミロクシステムQ&A——16

[今月の表紙] 豊頃町のジュエリーアイスと初日  
[場所] 北海道中川郡豊頃町

日本の未来—  
企業を支える  
ミロク会計人会



# 役員メッセージ

2024年、新しい年を迎えました。ミロク会計人会の役員の方々に、新年を迎えての抱負や会員の皆様へのメッセージなどをご寄稿いただきました。



ミロク会計人会連合会 会長

## 植田 卓

2024年のキーワード

### 実務に使えて ホンモノ

#### ●新年を迎えて

インボイス制度が昨年10月1日から実施されました。インボイス制度とはどういうものかということは理解されてきたと思うのですが、具体的にどうすればよいのかという関与先からの様々な次元の問いに対しては、「ん?」となることも少なくなく、これはもう実務を通じてケーススタディを丹念に繰り返していくしかないと思われま

#### ●今年の本会に期待すること

ミロク会計人会は、基本的にMJSのユーザーである税理士・公認会計士で構成されています。MJSからは様々なシステムが提供されていますが、当然その情報が会員に十分に伝わり理解されなければなりません。MJSとの連携をより強めていきたいと考えています。

#### ●本年秋の統一研修会に向けた意気込み

本年の全国統一研修会は、11月14日に東京ミロク会計人会が担当して東京で開催いたします。ミロク会計人会は、税理士会と同じように、全国で活動する各単位会の会計人会と包括するミロク会計人会連合会とで構成されています。全国統一研修会は、普段は各地域で活躍する会員が一堂に会する唯一の機会です。ぜひ皆さまのご参加をお待ちしております。



東京会会長

## 小山内 光雄

2024年のキーワード

### 会員増強

#### ●新年を迎えて

コロナも5類に分類され脱皮の兆しが見えて来ました。インバウンドも押し寄せて、巷には海外からの旅行者が目につくようになり、日本経済の後押しとなってくれるような新年と期待もしつつ国内の格差解消に目を向けていきたいと思

#### ●今年の本会に期待すること

5委員会の活動の成果が会員拡大に結びついていくので知恵を出し合い、提案し、それをもとに営業職員の活動が生き生きと展開されることを期待します。

#### ●次期統一研修会に向けた意気込み

本年の全国統一研修会は11月14日にTOKYOで開催されます。都内に限らず多種多様な魅力が詰まっている神奈川県、千葉県、山梨県も関わればいかかと欲張りな構想を描いていますが、準備委員会の皆様と一致団結してその日を迎えたいと思



北陸会会長

## 桶屋 泰三

2024年のキーワード

DX化対応

### ●今年の抱負

インボイス制度導入に続き、本年から電子帳簿保存法の改正など急速に税を取り巻く環境のデジタル化が進行しています。さらには、事業承継問題を抱える中小事業者も多く、各方面にわたる情報提供を期待されていると思われ、日々情報収集に邁進したいと思います。

### ●会員に向けてのメッセージ

各県別のミロクユーザーの集いが会員の皆様の交流の場となり、各会員事務所の取り組みの共有や、情報交換など有意義な時間であったと思います。

今後も会員の皆様に有益な情報の提供や研修を開催し、多くの会員の皆様に参加していただけるよう努力致しますので、会計人会对して様々なご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。



中部会会長

## 山内 今朝男

2024年のキーワード

夢は実現する

### ●今年の抱負

我々の関与先である中小企業の経営は、事業承継・人材の確保など多くの課題が山積しております。望むらくは、全業種に通じる「企業の稼ぎの指標システム」が考案され、企業の偏差値を基に値上げ交渉が実現し、それなりに安定した経営が維持できることを願います。夢なのか抱負なのか。

### ●会員に向けてのメッセージ

会計人会の役員に新たな会員を迎え、活躍を期待しております。限られた時間の中ではありますが、ご意見など発言の時間を増やし、「業務の効率化等の実現」に寄与できればと考えております。併せて今まで通り、仲間意識溢れる会務運営も心がけていきたいと思いません。よろしくようお願い申し上げます。



北海道会会長

## 中村 泰道

2024年のキーワード

練磨

### ●今年の抱負

北海道会会長として：引き続き悲願である「実務上の質疑応答事例のデータベース化」の実現に努める。

個人として：娘（8）と息子（5）の旺盛な好奇心に全力で応え、世の中は自分次第で楽しいことだらけであることを実感させる。

### ●会員に向けてのメッセージ

真摯な作り手であっても（あるいはむしろそうであるからこそ）、使い手の視点になることは難しいものなのだなど改めて実感した1年でした。MJSシステム改善のための「愛を込めた、どぎつい提言」をし続ける北海道会でありたいと考えております。

### ●今年の抱負

昨年は全国統一研修会開催の翌年で落ち着いた1年でした。今年はコロナもおさまっていることだし、新年会・総会・研修会などへのMJSユーザーの参加を募っていきます。そしてミロク会計人会への積極的な勧誘をして会員増を目指します。

### ●会員に向けてのメッセージ

会員事務所が存続・発展していくには、インボイス制度と改正電子帳簿保存法への顧問先の規模・能力に応じた対応、事務所自体のICT化の推進が必要です。MJSのシステムは機能改良で皆様の要望に応じています。ぜひ一度、問い合わせしてください。



東北会会長

## 穀田 有一

2024年のキーワード

ICT化

### ●今年の抱負

改正電子帳簿保存法がスタートしました。顧問先の状況に応じた情報提供が必要と考えます。インボイス制度と同様、特に小規模事業者に対する適切な指導を徹底したいと思います。相続時精算課税制度の改正による顧問先の意向調査を実施したいです。

### ●会員に向けてのメッセージ

関東信越会では会員の増強を最重要課題としております。

2023年では、過去最高となり、各種行事への参加者も増加しております。こうした機会での各会員間における情報交換が大切です。ミロク会計人会とMJSのさらなる発展のため!!



関東信越会会長

## 今井 彰

2024年のキーワード

世界平和



四国会会長

## 正司 哲浩

2024年のキーワード

品性と人格尊重

### ●今年の抱負

後継者の育成と世代交代です。新規加入者を始め、誰もが会務に参加して意見を述べる体制を整えるため、ベテラン会員や事務局の協力を得て、会員増強と後継者の育成、さらには世代交代を進め、会計人会の活性化に取り組んでまいりたいと考えています。

### ●会員に向けてのメッセージ

広報誌の充実です。広報あつてのミロク会計人会だと思っています。魅力ある広報誌『へんろ道』を目指し、情報がつぶさに分かる体制を整え、会計人会への参加と意識を高めてまいりたいと考えています。

会員の皆様方の積極的なご参加とお力添えに期待しています。



沖縄会会長

## 波平 正

2024年のキーワード

世界平和

### ●今年の抱負

連合会および当会計人会の最重要活動方針である会員増強について、昨年は5名の入会がありました。新会員の期待にも応えるべく、研修会の充実および会員交流の機会を増やしていきたいと思ひます。また、個人としては旅（山登り）ができるゆとりある1年にしたいと思ひます。

インボイスの波が通り過ぎたら電帳法の大波（？）が押し寄せてきます。MJSのご支援に大いに期待します。

### ●会員に向けてのメッセージ

会計人会の魅力は、研修会に参加できること、会員交流を通して事務所経営や業務上の悩ましい問題解決のヒントが得られることでもあると思ひます。役員一同、会の魅力作りに取り組んで参ります。どしどしご提案をお願いいたします。

### ●今年の抱負

インボイス制度と改正電子帳簿保存法を、いかに顧問先に浸透させていくかが会計事務所の大きな課題であり、責任だと考えます。会計人会の会員とMJSと三位一体で取り組んでいきたいです。

### ●会員に向けてのメッセージ

昨年11月9日の「第47回全国統一研修会大阪大会」が、近畿会会員のみならず、全国の会員諸氏のご協力により、大成功に終わりましたこと、心よりお礼申し上げます。第1分科会で、MJSの「会計大将に近いAI-OCR」の開発が進み、3月にはリリース予定と知り、本年はミロク会計人会にとって飛躍の年になる予感がしています。各種要因により事務所経営が難しいとお感で、まだ本会に入会されていない先生方は、ぜひご検討ください。今年は先生方にとって、本会に入会するメリットを間違いなく理解できる年になると思ひます。



近畿会会長

## 植田 順

2024年のキーワード

三位一体で  
乗り越えよう



中国会会長

## 清水 俊介

2024年のキーワード

凡事徹底

### ●今年の抱負

単位会会長に就任してはや4年。新型コロナに対応しながら、インボイス、電帳法と新しい波を何とか乗り越えてきました。今年は基本に立ち返り、当たり前のことを一生懸命に。公私ともに、充実した一年でありますように。

### ●会員に向けてのメッセージ

中国会は会員加入率が全国トップですが、会員の参加意識は今一歩かと感じています。今年は、中国5県6地区会会の体制、行事を充実させて、身近な組織としての活動を強化していきたいと考えています。

会員の皆様の積極的な参加をお願いいたします。

### ●今年の抱負

「賜った御恩はきれいに忘れ、抱いた怨みは岩に刻み死んだら化けて出る」という私でしたが、古希を迎え人生のカウントダウンは始まっています。残された時間は菩薩半跏思惟（はんかしゆい）像のような慈愛に満ちた微笑みをたたえ柔和な心で生きよう。無理か？

### ●会員に向けてのメッセージ

インボイスに続き今年は改正電子帳簿保存法の施行、さらに改正された贈与税のスタートです。会計人会では今年も実務に即した研修の提供、また変動する事務所業務に即した情報提供を適宜行っていきます。皆様のご協力をお願いいたします。



九州会会長

## 菅田 毅

2024年のキーワード

慈愛



連合会監事

## 大久保 昌逸

2024年のキーワード

エンゲージメント

## ●今年の抱負

昨年5月にコロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより、人々の行動規制が緩やかになりました。今年は、これまでに不足しがちであったコミュニケーションを深め、我々と関与先あるいは事務所とスタッフが相互に影響し合い共に必要な存在として絆を深める、いわばエンゲージメントを高めていきたいと思えます。

## ●会員に向けてのメッセージ

コロナ禍の3年間で大勢の高齢者が労働現場から離れたこと、若年労働者の減少と労働時間が短縮されたことなどが社会に深刻な労働力不足を招いています。

我々はIT関連の技術を磨き、早々にDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進して事務所を合理化し、関与先の模範とならなければいけないでしょう。



連合会監事

## 平野 豊

2024年のキーワード

スタート

## ●今年の抱負

今年は辰年。歴史的には新しい制度や事業が始まる年です。1940年に始まった所得税。東京ドームやスカイツリーの開業、米国アップル社の設立も辰年です。

3月16日は北陸新幹線の敦賀への延長。北陸の新しい時代とともに気持ちを新たにスタートします。

## ●会員に向けてのメッセージ

我々の最重要業務は、関与先企業の維持・発展を支援することです。そのためには時代に合った高度なシステム・サービスの提供が不可欠です。そして、最高のサービスを提供するには、ミロク会計士会が質・量ともにさらに発展しなければなりません。一緒に頑張りましょう。



## 是枝 周樹

2024年のキーワード

変革のための  
生産性向上

## ●新年を迎えて

謹んで新春をお祝い申し上げます。

昨年の第47回全国統一研修会 大阪大会には、先生方をはじめ1,000名以上の方にご参加いただいたことを、改めて心より感謝申し上げます。

昨年10月にインボイス制度が施行され、本年1月からは改正電子帳簿保存法における電子取引を行った際の電子データ保存が義務化されます。さまざまな業務や手続きが、紙からデジタルに移行する過渡期においては、業務が却って煩雑になり、顧問先様を支援する先生方も大変ご苦労されている事と思えます。先生方や顧問先様の業務がスムーズに進められるように、MJSは製品機能を一層強化し、最適なシステムを提供してまいります。

## ●MJSが目指すもの

ご承知の通り、ここ数年で世界情勢に大きな変化があり、日本国内の社会・経済環境も大きく変化しております。5年後、10年後には先生方の顧問先様である中小企業のビジネス環境も大きく変わることが予想され、さまざまな新たな経営課題への対応が求められることと思えます。

統一研修会の協賛会社挨拶でも触れさせていただきましたが、MJSが提案するのは「DXの推進」「ヒトとAIの融合」「社員の幸せ」です(※1)。

テクノロジーの変化に伴ってさまざまな業種のビジネスモデルが変わりました。それが会計事務所業界にも訪れようとしています。DXやAIで会計事務所の中の生産性を上げることに現在は取り組んでいます。今後はそれで生まれた時間を変化に充てていただけるよう、MJSもお手伝いしてまいります。

(※1)統一研修会開催レポートP.8に記載しています。

2023年11月9日(木)  
「第47回全国統一研修会 大阪大会」  
開催報告

# 「笑う門には福来る なにわ友あれ大阪でっせ!」 をテーマに1000名超が 大阪に集結!!

11月9日(木)、リーガロイヤルホテル大阪(大阪府大阪市)で  
ミロク会計人会連合会主催の一大イベントである  
「全国統一研修会 大阪大会」(開催担当会:近畿ミロク会計人会)が、  
1000名以上の参加を得て盛大に開催されました。



式典の様子

## ご祝辞

財務大臣 鈴木俊一様  
代読 笹田毅連合会副会長



本日、ミロク会計人会連合会主催による第47回全国統一研修会が大阪府大阪市において開催されるにあたり、心からお祝いを申し上げます。

皆様方におかれましては、独立した公正な立場から、納税者への支援を通じて国民の納税義務の適正な実現を図るという公共的使命を果たされる一方、納税の基礎となる記帳や会計処理をはじめ、商取引の面においても指導的な役割を果たされ、中小企業の発展に寄与していただけることに対して、敬意と感謝の意を表します。

足元の経済状況を見ますと、コロナ禍の逆境を乗り越え、30年ぶりの高い賃上げを実現するなど改善しつつありますが、他方で、国民生活は、食料品をはじめとする急激な物価高に苦む状況が続いております。政府としては、目の前に現れ始めた経済回復の芽を力強い成長につなげていくべく、まずは物価高騰対策にしっかりと取り組んでまいります。また、持続的な賃上げや国内投資の促進を図るべく、その担い手である企業の皆様、とりわけ雇用全体への7割を支える中小企業の皆様の資金繰りや、販路拡大・輸出促進など未来に向けた積極果敢な取組を全力で支えて参ります。

本年10月からインボイス制度が施行されましたが、この新しい制度の円滑な導入と定着は、今後も消費税が適正・公平に課税され、広く納税者の皆様から信頼される税制であり続けることができるとかどつかの試金石になるものと考えております。政府としては、事業者への丁寧な相談対応や各種補助金による支援に加え、税負担を軽減する激変緩和措置などを講じて参りましたが、引き続き、事業者の皆様が安心して仕事ができるための環境整備を進めて参ります。

合わせて、インボイス制度のみならず、税務行政全体として国民の信頼に応えられるよう、ICT(情報通信技術)による申告・納付手続の利便性向上など、納税環境の不断の改善に努めて参ります。会計の専門家である皆様方におかれましては、引き続き、税務行政に対する御理解と御協力を賜りますとともに、納税者の方々との最も身近で信頼できる相談相手・専門家として一層指導・助言を賜りますようお願いいたします。

最後に、貴連合会の益々の御発展と、御参会の皆様方の御健勝をお祈り申し上げ、御挨拶とさせていただきます。

式典は午後1時00分から、金田光世大会実行委員会統括とアシスタントの福田ユミ氏の司会のもと、植田順近畿会会長の開会の挨拶により始まりました。

ミロク会計人会連合会を代表して植田卓会長が挨拶を述べた後、鈴木俊一財務大臣からの祝辞を笹田毅副会長が代読。須藤治中小企業庁長官が

らの祝辞を波平正副会長が代読しました。近畿税理士会からは石原健次会長が登壇し、祝辞を披露されました。

単体会表彰では昨年の「第46回全国統一研修会いわて盛岡大会」を担当された東北ミロク会計人会を代表し、穀田有一会長が表彰を受けられました。功労賞表彰ではこの度任期を終えられた四国ミロク



(右から)司会の金田光世大会実行委員会統括とアシスタントの福田ユミ氏



植田順近畿会会長の挨拶



壇上の連合会役員



ご来賓席と協賛会社席

会計人会の木村 幸博前会長、近畿ミロク会計人会の前会長として植田 卓連合会会長が表彰されました。

そして、協賛会社であるミロク情報サービスの是枝 周樹社長の挨拶があり、日本税理士会連合会の太田 直樹会長の祝電紹介と、MJSイメージ



閉会の言葉を述べる壽(ことぶき) 信明大会実行副委員長



近畿会前会長として功勞者表彰を受ける植田 卓連合会会長



功勞者表彰を受ける木村 幸博前四国会会長



単位会表彰を受ける穀田 有一東北会会長

キャラクターのホラン千秋氏の開催を祝うビデオメッセージが披露されました。その後、壽信明大会実行副委員長の閉会の言葉で式典は終了となりました。

引き続き行われた基調講演は、毛利 恵行大会実行副委員長の開会の言葉でスタート。

吉本興業のタレントであり、元参議院議員でもある西川きよし氏に「人生は小さなことからコツコツと」と題して講演いただき、小山敏大会実行委員・副会長の謝辞と閉会の言葉で幕を閉じました。

第1分科会では、連合会・システム開発委員会の企画運営で「いまさら聞けない話せない、インボイスと電帳法」と題した講演が行われました。司会は平松 荘介システム開発委員が務め、外園 令明システム開発委員長の開会の言葉があり、MJS 税経システム研究所の顧問でもある植田 卓会長と笹田 淳システム開発委員が講師として登壇しました。

第2分科会では、月刊紙『日本一明るい経済新聞』を発刊する有限会社産業情報化新聞社の竹原 信夫社長兼編集長に「元氣な中小企業の秘密はあいうえお経営」と題して講演いただきました。司会は縄田 浩昭大会実行委員が務め、壽大会実行副委員長の開会の言葉で始まり、小坂 文夫大会実行委員会顧問の謝辞と閉会の言

## ご祝辞

中小企業庁長官 須藤 治 様

代読 波平 正連合会副会長



この度は「ミロク会計人会連合会 第47回全国統一研修会大阪大会」の開催、誠にありがとうございます。

中小企業庁としてはこれから、信用保証協会や民間金融機関等による経営改善・再生支援の促進、保証料上乘せ

により経営者保証の提供の有無を選択できる信用保証制度の創設等、挑戦意欲のある中小企業の取り組みを加速するための総合的な施策を展開して参ります。11月6日には「挑戦する中小企業の経営改善・再生支援強化会議」を開催し、参加された税理士・公認会計士の皆様から地方における再生人材の育成の必要性などについてご意見を頂戴しました。皆様からいただいたご意見を踏まえつつ、年度内に「再生支援の総合的対策」を取りまとめます。また、経営者の高齢化が進展する中、地域経済と雇用を支える中小企業の貴重な経営資源が後継者不在によって散逸することを防ぐため、事業承継やM&Aへの支援が重要です。引き続き、事業承継・引継ぎ支援センターによるマッチング支援、政府による補助金や税制措置、M&A推進に向けた環境整備など、承継前から承継後までの切れ目のない支援を実施して参ります。

さらに、事業再構築補助金やものづ

くり補助金等により、新分野展開・業態転換などの思い切った取り組みや生産性向上に資する設備投資等の支援も行って参ります。

加えて、政府とともにコロナ禍からの立ち直りに向け、賃上げ及び人手不足解消のための省力化投資への支援等を検討しております。

10月1日に導入されたインボイス制度につきましても、様々なご不安・ご懸念を抱えている事業者の方がいらっしゃるかと認識しております。経済産業省においては、税理士等の専門家の皆様のお力添えをいただきつつ、制度や支援策の周知・広報、税理士等の専門家による相談対応を実施しております。加えて、IT導入補助金による経理業務等のデジタル化や持続化補助金による販路開拓等への支援、免税事業者が取引上で不当に扱われないような取引環境の整備などを進めてきたところで

す。皆様の相談支援等へのご協力に感謝するとともに、引き続き、経済産業省としては、事業者の皆様の声をきめ細かく伺い、必要な支援に取り組んでいく所存です。皆様におかれましては、相談対応等にご協力いただくと、お願い申し上げます。

## ご祝辞

近畿税理士会会長 石原 健次 様

本日ここに、ミロク会計人会連合会の主催により第47回全国統一研修会 大阪大会が盛大に開催されましたことを心からお祝い申し上げます。



さて、昨年3月の第6次税理

士法改正により、新たに法第2条の3が創設されました。この改正では税理士の業務環境や納税環境の電子化といった変化に対応するため、税理士が業務のICT化の推進を通じて、納税義務者のデジタル化による利便性の向上とともに、税理士事務所自身のデジタル化に努めることが明確化されました。近畿税理士会では、デジタル化相談室によるサポート体制を充実させ、会員だけでなく、その関与先である中小事業者のデジタル化を推進していくとしています。相談室におきましては、ミロク情報サービス様をはじめ、各種ベンダー様にもご協力をいただきます。ありがとうございます。

来月4月26日には、大阪で近畿税理士会による業務のデジタル化に関するセミナーや展示会を開催する予定です。税理士だけではなく、職員の方々にも参加していただけるセミナーや展示会を開催する予定です。展示会では会計ベンダー各社様に協力を依頼し、税理士や税理士事務所職員の方々が業務汎用系システム連携ソフトなどに身近に触れ、DXへの手掛かりにしていきたいと考えております。ぜひ、株式会社ミロク情報サービス様におかれましては、積極的なご参加と業務改善のご提案をお願い申し上げます。

今後とも、税理士会とミロク会計人会との連携を深めていただき、業界発展のために一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## ご挨拶

ミロク会計人会連合会会長 植田 卓

連合会会長の植田です。本日の統一研修会 大阪大会の実行委員会の委員長も務めさせていただいております。今日は全国から大阪までお越しいただきありがとうございます。



2022年、会長に就任し、ミロク会計人会の課題であります会員増強などに取り組んでおります。会員増強ですが、そもそもミロク会計人会はこのミロク情報サービスのシステムを使っている職業会計人の業務改善などを目的として設立されたという背景があります。そのため、同社のシステムを「もっと有効活用せんとあかん」わけです。それを念頭に、会長に就任した2022年から総務委員会の中に会員増強小委員会を設け、対応を検討して参りました。小委員会では単に教育的な事業だけではなく、「ユーザーとして会社ともしっかりと密接にしているシステムを使ってみませんか」といった声が上がりました。私ももっとユーザーとしてのステータスを高めるような施策に変えていかなければと考えております。

10月1日からインボイス制度が始まりました。MJSのインボイスのシステムでは報酬請求管理システムがあります。これで請求書を作る場面が多いと思いますが、そもそも自身で電子インボイスをやってみないと分からないことも多いはずですが、だからこそ、今一度ご自身の手で取り組んでみませんか。ミロク会計人会の活動は単にユーザーが集まるだけではなく、ユーザーと会社との間で、もっと密接な連携を図りながら我々の経営改善に努めていこうという姿勢が重要だと考えております。私はもう1年任期がございます。任期満了の来年に取り組みの報告をし、任期を終わらせていただければと思います。これにて会長の挨拶とさせていただきます。

## 協賛会社挨拶

ミロク情報サービス代表取締役社長 是枝 周樹

本日は第47回全国統一研修会 大阪大会に多くの皆様方がご参加いただき、心より感謝申し上げます。

さて、この10月にインボイス制度が施行され、改正電子帳簿保存法においては電子取引を行った際



の電子データ保存が来月1月より義務化されます。私たちも製品機能を一層強化し、最適なシステムを提供して参ります。ぜひ、ご活用ください。

今回は、先生方の顧問先様である中小企業にとって、私が特に重視すべきと考える3つの課題についてお話しします。一つ目は「積極的なIT化・DX化の推進」です。業務のデジタル化、IT化の進捗とともに、DXの活用が肝要になります。

二つ目は「ヒトとAIの融合」です。いずれ、AIが戦略的な意思決定を指南する世界が来ます。ただし、全てAIが正しいとはならず、ヒトの知識や経験、時には感情や思いというのが重要な役割を果たします。いつの時代にあっても、先生方が親身になって「伴走支援」することが大切になります。

三つ目は「社員の幸せ」です。会社はお客様によって支えられ、お客様を支えているのは社員です。社員が幸せであることが何よりも大切ですが、社会環境や働く環境が変わると、「社員の幸せ」の定義が変わります。外国人の雇用、より複雑になる社員の家庭環境、望まれるワークスタイルの変化などを受け、人の価値観はますます多様化します。「人」の問題に画一的な答えはなく、自社と社員一人ひとりをよく見て、最優先で対応していくことが重要です。

最後に、時代が大きく変わろうとしています。いつの日にも税理士・公認会計士の先生方が、顧問先様の伴走支援ができるよう、ミロク情報サービスは全社員が一丸となり、最適な製品・サービスを開発・提供し、誠心誠意、ご支援して参ります。





太夫・豊竹 睦と豊竹 希、三味線・野澤 勝平、鶴澤 清丈、鶴澤 友之助、主遣い・吉田 簗二郎、吉田 玉助による人形浄瑠璃文楽の公演



挨拶を述べる協賛会社ミロク情報サービスの是枝伸彦会長



近畿税理士会の宮田 義見顧問の乾杯のご発声で懇親パーティー開始



東京会会員が壇上へ上がり、東京大会開催に向けたコンセプトを発表しました



来年開催の全国統一研修会東京大会への参加を呼び掛ける小山内 光雄東京会会長



懇親パーティーでは1935年の創業以来、数多くの国賓をもてなしてきたフランス料理などに舌鼓を打ち、会話を楽しみました



植田 卓大会実行委員長による閉会の挨拶



運営に携わった近畿会会員一同による閉会宣言

葉で幕を閉じました。  
第3分科会では京都精華大学前学長であり、アフリカ・アジア現代文化研究センター長・2025年日本国際博覧会協会副会長・理事・シニアアドバイザーなどを兼任するウズビ・サコ氏に「多様性を重んじる日本における共創社会の構築に向けて」と題して講演いただきました。司会は友松悦子大会実行委員が務め、吉田紀夫大会実行副委員長が閉会の言葉を述べました。終了後は長谷川治雄大会実行委員が謝辞と閉会の言葉を述べました。

懇親パーティーは午後6時30分に、「人形浄瑠璃文楽座」の皆様による「文楽 寿二人三番叟」で幕開けしました。文楽は、物語を語る太夫と人物の心理描写をはじき表す三味線、細やかな動きで人間以上のしぐさを見せる人形の3者で成り立つ総合芸能です。大阪で生まれ、育まれた伝統芸能で、現在は能や歌舞伎などと共に、ユネスコ無形文化遺産に選定されています。「文楽 寿二人三番叟」で盛り上がった後は司会でもある金田大会実行委員会統括が閉会の挨拶を述べられました。続いてご来賓の紹介の後、近畿税理士会の宮田義見顧問が乾杯のご発声をされました。

しばしの懇親と食事の時間を経て、観光協会による特別動画「OSAKA Downtown of Song」が放映されました。その後、ミロク情報サービスの是枝伸彦会長より挨拶がありました。続く次期大会へのお誘いでは、東京ミロク会計人会の皆様が、開催地である東京のアピールとともに、第48回東京大会への参加を呼びかけました。そして、最後に植田卓会長が大会実行委員長として閉会の挨拶をし、懇親パーティーは終了となりました。

文化遺産に選定されています。「文楽 寿二人三番叟」で盛り上がった後は司会でもある金田大会実行委員会統括が閉会の挨拶を述べられました。続いてご来賓の紹介の後、近畿税理士会の宮田義見顧問が乾杯のご発声をされました。



近畿会の先生方とミロク情報サービスの面々によるお見送り

# 人生は小さなことから コツコツと

大阪といえば、お笑い、そして漫才の聖地です。そこで、今回の基調講演では吉本興業を代表するタレントであり、元参議院議員でもある西川 きよし氏を講師にお迎えし、ご自身の半生を振り返っていただきながら、「小さなことからコツコツと」に込められた思いを語っていただきました。



**西川 きよし 氏**  
にしかわ・きよし  
タレント・元参議院議員

1963年石井均に弟子入り。64年吉本新喜劇に研究生として入団。66年「横山やすし・西川きよし」を結成、「やすきよ」として漫才ブームをけん引。86年参議院議員選挙に初当選、その後3期18年の議員生活を務める。2016年旭日重光章を受章、前立腺癌が見つかるも治療を続け完治。20年文化功労者に選ばれる(漫才師として初)。23年芸能生活60周年を迎える。現在は劇場やテレビ・ラジオで活躍中。

## 横山やすしさんへの感謝と 破天荒な思い出の数々

私は今年で77歳になりました。芸能生活60周年を迎え、吉本興業もおかげさまで110周年を迎えることができました。この11月2日には秋の園遊会にお招きいただき、天皇陛下や秋篠宮殿下からお声がけいただいたのですが、ふと「横山やすしさんがいたら」と思いました。私が横山やすしさんとコンビを組んだのは1966年のことです。やすしさんはそれまでに

4回もコンビを組んでおり、私は20数回誘われながらもずっと断り続けていました。ところが、やすしさんは「もう崖っぷちやねん。お前と一緒にやってくれないと困るねん」としつこいのなんの。周囲の皆さんからは猛反対されていましたが、家内と相談したら「そんなに愛されているのだったら一度やってみたら」と言われて、1966年2月に「やらせていただきます」と返事をしました。すると、先輩やかつてのやすしさんの相方などが代わる代わる私のところ

ろに来ては「あいつは稽古をせんとぞ」と言うわけです。まさかと思いましたが、実際にコンビを結成した年の6月の初舞台までやすしさんは何度こちらから声をかけても稽古をしてくれませんでした。それでも漫才は良い感じに受け、10カ月後には上方漫才大賞の新人賞を受賞することができました。以降は舞台が終わり、帰ろうとするやすしさんを引き留め、楽屋で少しづつ稽古をするようになりました。やすしさんは1996年に亡くなってしまいましたが、私は今も『秘密のケンミンSHOW極』などのテレビ番組をはじめ、いろいろな場面で呼んでいただいています。コンビを組んでいた時は本当に振り返ればなしでしたが、これもやすしさんのおかげです。先日やすしさんの墓を参り、やすしさんが作った『俺は浪花の漫才師』という歌を口ずさみ、この基調講演で緊張しないようにお願いしてきたところですよ。

それにしても大阪は面白い街で、漫才師だけでなく、お客もユーモアに満ちています。以前、客席にお父さんと小学4年生くらいの子どもがいたので、私が「どこから来たの」と尋ねると「家からや」と即答され、客席が大いに盛り上がったことがあります。こういう子たちが吉本興業に入ってきて、さらに世の中を面白くしてくれるのです。

私自身、やすしさんだけでなく、多くの面白い芸人たちに囲まれてきました。その一人が私の2年後に吉本興業に入ってきた坂田利夫さんです。実は坂田利夫さんは吉本興業に入る前まで大阪ガスで2年間、サラリーマンをしていたのです。しかも、やっていたのはガスタンクの点検、あれほど、天然な人にそんな仕事を任せるなんて、大阪ガスも勇気があるものです。これぞまさに「天然ガス」といったところでしょうか。

坂田利夫さんにはその天然ぶりを示す面白いエピソードがたくさんあります。ある日、坂田利夫さんは妹さんの結婚式で挨拶をすることになったわけですが、会場の盛り上がり緊張し、列席者の前で思わず「ふつつかな妹ですが」と言うべきところを「ふしだらな妹ですが」と言い間違えてしまったんです。私は隣に座っていたんですが、あれは面白かったですね。

その後も吉本興業には次々と個性的な芸人たちが入ってきました。その代表格がジミー大西です。彼は32年前にザ・ぼんちのぼんちおさむさんに弟子入りしました。でも、ジミー大西にはいわゆる常識が欠けていて、私が「しつかりな」と声をかけると「お前もな」と返す始末。しかし、そういう常識では測れない個性が売れる要素になって

いくわけです。今やジミー大西は絵画の世界でも売れっ子で、各地で個展を開いていますが、その非常識っぷりは健在です。先日も忙殺されて病院で点滴を打っているというのでお見舞いに行ったところ、「先輩を待たせるわけにはいきません」と腕から点滴を抜いて口で吸い始めたんです。あまりの奇行ぶりにお医者さんも驚き、「荷物をまとめて出ていけ。お前は『天敵』だ」と。いやはや本当に大阪には楽しい人がたくさんいます。

しかし、なんととっても強烈なのはやすしさんです。例えば、人生幸朗・生恵幸子さんの声がけで、やすしさんと一緒に矯正施設や福祉施設などでボランティア活動として漫才を披露するようになった時のこと。ある刑務所の中に私たちが入ると、重い扉が大きな音を立てて閉まり、やすしさんが思わず「帰りには開けてくれるんやろな」と呟いたんです。その時にはいざ自分が警察にご厄介になるとは思ってもいなかったことで

しょう。その後、やすしさんは1970年にタクシーとの接触事故を起こし、無免許運転と飲酒運転も相まって、2年4カ月ほど仕事を休むことになりました。それで私は吉本興業から「だから言うたやろ。新喜劇に来るか、それとも新しいコンビを組むか」と言われましたが、やすしさんを待つことにしました。すると、ありがたいことに吉本興業はその間の生活費を支援してくれました。

### 政界進出を経て実感した 積み重ねの大切さ

やすしさんが復帰してからというもの、私たちは漫才にさらに磨きをかけていきました。でも、やすしさんの破天荒ぶりは相変わらずで、いきなり飛行機を買ったり、レースとしてアマチュアポーターとしてアマチュアポーターリースにのめり込んだりしていました。ある時には「冠番組を休んでポーターレースに出たいから、口裏を合わせてくれ」と頼まれたことも。言い出したら聞かない性格なので、渋々承知して、何とかその場はやり過ごしたのですが、なんと翌日のスポーツ新聞に大

きく「横山やすしポーターで優勝」と出ているではないですか。おかげで、テレビ局やスポンサーなどの関係者に謝って回ることになりました。

私は先述したボランティア活動（施設への訪問）を、やすしさんがやめた後もライフワークとしてずっと続けてきました。そして、30歳を過ぎた頃から「世の中に恩返しをしたい」と強く思うようになり、39歳で参議院選挙への出馬を決意しました。吉本興業からも周囲の仲間からも止められました。やすしさんは「ええがな、応援するわ」と言ってくれました。

そういうえば選挙初日、大阪駅の近くで私の選挙カーのウグイス嬢が開口一番、「西川きよしは大きなことはできませんが、小さなこともできません」と言っていました。本当は「小さなことからコツコツと取り組んでいきます」と言いたかったのに大失敗で

# いまさら聞けない話せない、インボイスと電帳法

第1分科会では、ミロク会計人会連合会会長でMJS税経システム研究所顧問の植田 卓先生とミロク会計人会連合会システム開発委員の笹田 淳先生が、インボイス(適格請求書)制度と電子帳簿保存法のポイントをあらためて解説しました。その概要をお伝えします。



MJS税経システム研究所顧問の植田 卓会長



笹田 淳連合会システム開発委員

## インボイス制度のポイントをあらためて丁寧にレクチャー

前半ではMJS税経システム研究所顧問の植田 卓先生が2023年10月1日にスタートしたインボイス制度について、特に分かりにくい点や誤解しやすい点、複雑な対応が必要となるケースなど、的を絞って解説しました。当日は操作画面を参加者に披露し、実演を交えながら具体的な入力方法などについてレクチャーしました。「インボイスの

保存が不要とされる場合」の項では、「公共交通機関関係や自動販売機関係、従業員の出張旅費等といった、分野ごとに留意点をレクチャー。請求書等が毎回発行されない家賃やETCによる通行料、商品券等の場合についても、必要書類を揃える際のポイントを整理して解説しました。また、免税事業者と取引がある課税事業者の急激な負担を軽減するためのさまざまな経過措置も重点的に解説。ケースバイケースで対応が異なるため、

実務面に役立つよう具体例を挙げて話していました。

このようにインボイス制度を巡るポイントを解説した後、植田先生はMJSの「MJS e-Invoice」を取り上げ、「ACELINK NX-Pos」の報酬請求管理システムと「MJS e-Invoice」を連携させることで、自動的に電子インボイスを発行できる機能を紹介。上手く活用すれば、「関与先は事務所から送信されたメールに記載のURLをクリックすれば電子インボイスが付与された請求書をダウンロードできる」ことや、「事務所は関与先が請求書を開いたかどうかを確認できる」こと、「関与先は請求書を印刷すれば、通常のメール添付で送られた請求書として利用することもできる」ことを伝え、「ぜひ積極的に活用し、インボイス時代を乗り切っていきましょう」と会場に呼び掛けました。

## 電子帳簿保存法への対応と新AI-OCRのご紹介

後半ではシステム開発委員

の笹田 淳先生が、「電子帳簿保存法の基礎知識」をテーマに講演しました。まず強調していたのは「全ての書類が電子帳簿保存の対象ではない」ということです。対象となるのは「帳簿」「決算書類」「証憑書類」であり、「社内規定」「業務関係書類」などは対象外。電子帳簿保存に取り組むにはそれらを把握した上で、諸々の対応を進めていく必要があると解説しました。

その保存の仕方ですが、「国税の問い合わせに対してすぐに該当の書類を検索、特定できる保存体制を整える必要があります」と笹田先生。講演では、具体的な保存方法や管理の仕方、便利なツールなどに重点を置いて解説していました。

その上で笹田先生は最後に、2024年3月にリリース予定の「ACELINK NX-Pos会計大將」オンラインプレミス版「AI-OCR」(※)について紹介しました。

このソフトの特徴は、インターネットブラウザ上ではな

く、「会計大將」のソフト内で使えること。レシート・領収書や通帳をスキャナーで読み込めば、その読み結果を仕訳入力と同じ画面構成で確認や修正ができ、簡単に連携できます。さらに、各種請求書や修正した勘定科目などをその都度AIが学習していくので、使えば使うほど入力業務時間の短縮につながります。また、MJSの開発チームではレシート・領収書や通帳のみならず、法人の各種請求書やクレジットカード明細、個人の医療費領収書や各種控除証明書など、多種多様な帳票に対応できるよう開発を進めています。

笹田先生は「人手不足が深刻化する中、私たち税理士が関与先の経営アドバイス等に力を注ぐためには、こうしたソフトで入力作業の効率化・省力化に取り組むことが大事です」と力説しました。制度改正への対応の仕方に留まらず、税理士業界の未来を見据えた講演となりました。

# 元気な中小企業の秘密は あいうえお経営

これまでに数多くの中小企業取材してきた竹原 信夫氏。その経験を基に元気な中小企業に共通する「あいうえお経営」を提唱しています。そこで、第2分科会ではそのエッセンスについてお話しいただきました。



竹原 信夫 氏

たけはらのぶお

有限会社産業情報化新聞社  
代表取締役  
(日本一明るい経済新聞編集長)  
一般社団法人  
日本広報支援機構 代表理事

1971年3月関西大学社会学部マスコミ学科卒。同年4月フジサンケイグループ日本工業新聞入社。その後、大阪で中小企業担当、浜松支局記者などを経て、大阪で繊維、鉄鋼、化学、財界、金融などを担当。90年4月大阪経済部次長(デスク)に就任。97年2月から2000年10月末まで大阪経済部長を務める。01年1月から独立、産業情報化新聞社代表に就任。年間約500人の中小企業経営者に取材、月刊紙「日本一明るい経済新聞」を発行する。毎日新聞紙面研究会研究員(2008年度)、大阪商工会議所異業種交流会年間コーディネーター、大阪産業創造館の「マスコミ戦略セミナー」コーディネーターなどを務める。

明るさと強い意志が  
逆境を跳ね返す

私はこれまで多くの社長さん取材してきました。業種や規模はさまざまですが、元氣な社長が話すことは実はほとんど同じでした。その共通点をまとめたのが本日ご紹介する「あいうえお」です。

最初の「あ」は「明るい」。利益が出ている会社の元氣な社長が明るいのは当たり前だと反論されることがありますが、私が強調したいのは「厳しい時代でも、社長は明るく

なくてはいけない」ということです。例えば長い不況で売上も利益も落ち、取引先も潰れるという大ピンチに陥った企業がありました。その社長はある日、ピンチの中で自分の顔が非常に暗くなっているのに気づき、「こんな顔をしていたらみんなが不安になってしまう」と思い直し、次の日から努めて笑顔で出社することを意識しました。すると、それを見た社員たちは安心して、社内のムードも一気に和らいだそうです。さらに来社した取引先もその雰囲気の変化を

敏感に察知し、打ち切ろうとしていた仕事を継続することにしたそうです。社長さんはこうした変化について、「嫌なことがあつて顔に出すのは子どもと同じ。人を引っ張る人間は、辛い時でも笑わなければいけない」と話していました。まさにこういった明るさが大切なのです。

**意志は強く、運と縁を大切に  
大きな夢を持って!**

続く「い」は意志の強さです。右肩上がりの会社でも、問題が起こった時に業績がス

トンと落ちてそれきりということがよくあります。本当に元氣な会社は、壁に当たっても回復軌道を取り戻す「ばね」のような成長曲線を描きます。そこに感じるの強い意志であり、私はパナソニックの創業者、松下幸之助さんの「成功するまでやめなかった」という言葉を思い出します。

「う」は運です。成功している人は皆、自分は運が良いと思込んでいます。事故に遭ってけがをしても、この程度で済んで良かったと本気で思うわけです。これは言い換えすると「プラス思考ができる人」ということでもあり、先述した苦境に陥った際の意志の強さにも通じると思います。

「え」は縁を大切にすること。縁を広げたいなら、自分さえ良ければいいという考えを持たないことです。相手が困っていたら助ける。そういう日頃の行いが巡り巡って自分にも還ってくるわけです。

「お」は、大きな夢です。私は社長さんにインタビューする時にいつも「夢は何ですか」

と聞きます。大きな夢を持っている人は一様に元氣で前向きですが、即答できない人からは今一つ覇氣や魅力が感じられません。この「あいうえお」に加え、私が取材を通じて見つけた元氣な会社の共通点(番外編)として「スリッパがきれいに並べられてある」「トイレがきれい」という2点があります。このような会社はリーマンショックの時も、コロナ禍でも、不思議と元氣に頑張っていました。

その他、元氣な社長は朝起きるのが早いし、夫婦仲が良いという特徴も持っています。私の知る社長さんの中で、夜遅くまで働いた後に奥さんから「今日もご苦労さま」と言われるだけで、一日の疲れが吹き飛ぶとおっしゃっている方がいます。このように家族や社員に感謝する心を忘れないことも大切だと思います。

今日、ご参加の先生方にとってこのような事柄が顧問先の会社や経営者の方たちを支援するための参考になればうれしいかぎりです。

# 多様性を重んじる 日本における 共創社会の構築に向けて

文化人類学を専門とし、京都精華大学の学長などを歴任したウスビ・サコ氏。第3分科会ではその卓越した知見を基に、グローバル社会において多様性を維持し続けるための方策について語っていただきました。



## ウスビ・サコ 氏

Oussouby SACKO

京都精華大学 前学長  
人間環境デザインプログラム・教授  
人文学部 学部長を経て2018年4月同大  
全学研究機構・機構長  
アフリカ・アジア現代文化研究センター長  
2025年日本国際博覧会協会  
副会長・理事・シニアアドバイザー

マリ共和国生まれ。国費留学生として北京語言大学、南京東南大学で学ぶ。1990年、東京で短期ホームステイを経験し、マリに共通するような下町の文化に驚く。91年来日、99年京都大学大学院工学研究科建築学専攻博士課程修了。博士(工学)。専門は空間人類学。「京都の町家再生」「コミュニティ再生」など社会と建築の関係性をさまざまな角度から調査研究している。京都精華大学人文学部教員、学部長を経て2018年4月同大で現職。暮らしの身近な視点から、多様な価値観を認め合う社会のありかたを提唱している。

### グローバル社会における 多様性のありかた

多様性という観点からすると、日本は極めて寛容な国と言えます。例えば他国では民族や宗教による対立が起きていますが、日本では特定の人や宗教を極端に嫌うことはあまりありません。こうした日本の特性は共創社会を構築する上で非常に良い基盤になると思います。

私は文化人類学を専門とし、中でもコミュニティ(共同体)の変化を研究領域にしてきました。そこで、本日は個人の集合体である社会が変化する中において、グローバル化がどのような意味を持つのかを確認した上で、異なるアイデンティティを持つ者が「同化しないで居場所を確保し、共に社会を形成する」にはどうすればいいかについてお話ししたいと思います。

中でも重要なのは「物事の価値が一つの文化によって決められない」ことで、お互いの歩み寄りが求められます。近年になって人種、性別、宗教、性的嗜好、社会・経済的背景、民族・個人の違いなどを配慮する「ダイバーシティ(多様性)」が重んじられるようになってきているのはその表れの一つと言えるでしょう。

### 少数者擁護だけでなく 多数者の意識改革が必要

多様性を重んじる上で私が提言しているのが、「マイノリティ(少数者)を擁護するだけでなく、マジョリティ(多数者)の意識改革が必要だ」ということです。双方が息苦しさを感じることなく居心地の良い社会にしていくことがポイントで、これが複数の伝統が尊重される多文化主義を成り立たせることにもつながります。

多文化主義の観点から現在の日本を見てみると、大学などの教育施設や企業などでは外国人を受け入れるインフラはあるものの、社会全体での準備が不足していると感じます。一方で、グローバル化が進む中で日本をはじめとする各国・地域の固有の文化はどうなるのかという問題にも目を向けなければなりません。この点で私が危惧しているのが「世界のマクドナルド化」です。つまり、大衆に広く好まれるマスカルチャーが私たちを一方的に支配してしまうのではないかとことです。では、固有の文化が尊重されるにはどうすればいいのでしょうか。一つは異文化と触れる機会が増える中で「自分たちの文化を正しく伝える」とことです。私たちは外国人の人物などを認識する際に、自分の知識や既存の先入観に頼りすぎてしまいがちです。これにより相手に対する素直な認識が妨げられ、さまざまな誤解が生まれてしまいます。

こうした齟齬を生み出さないためにも、私たちはあらためて伝統と文化の違いを意識しなければなりません。あるオランダの学者の説に沿って、「文化は歩み寄りによって新しく作られる」が、伝統は「代々受け継がれているもの」で変化する余地はないと言います。つまり、私たちは伝統を保ちながら新たな文化を生み出していくことを目指すべきなのです。

日本には今後、労働者不足の問題もあり、さらに多くの外国人が入国してきます。その際に社会が好ましく変化していけるよう、私も精一杯、知見を提供していきたいと思っています。

# 懇親ゴルフ大会

参加者 104名

11月10日、大阪府豊能郡能勢町にある「アートレイクゴルフ倶楽部」にて、総勢104名が参加し、懇親ゴルフ大会が開催されました。

同クラブは、2013年に開催された近畿オープン決勝競技の場として使われ、17年には大阪女子オープン開催の場として、21年には関西学生（女子学生）選手権決勝の場として活躍しました。同年9月8日には開場30周年を迎えました。

同クラブはフルバックから7000ヤード超と距離のある丘陵コースです。レイアウトは全体的に極端な打ち上げ、打ち下ろしの無いどころが特徴です。ただ、フェアウェイには微妙なアンジュ

1:歴史ある「アートレイクゴルフ倶楽部」にて懇親ゴルフ大会が行われました 2:個人優勝を果たした北陸会の岡崎克郎先生(右) 3:単位会優勝を果たした四国会の先生方



## 【単位会対抗戦】

順位	単位会	チームスコア
1位	四国会	73.20
2位	近畿会	73.87
3位	北陸会	74.00
4位	中国会	74.13
5位	関東信越会	74.20
6位	中部会	74.87
7位	東京会	75.13
8位	九州会	77.20
9位	沖縄会	78.53

## 【個人成績】

順位	氏名	グロス	HDCP	ネット
1位	岡崎 克郎(北陸会)	90	19.20	70.80
2位	森内 昭男(四国会)	101	28.80	72.20
3位	植田 良実(東北会)	89	16.80	72.20
4位	中畝 将博(中国会)	82	9.60	72.40
5位	矢ヶ崎 清(関東信越会)	86	13.20	72.80
6位	飯塚 寿章(関東信越会)	92	19.20	72.80
7位	毛利 恵行(近畿会)	103	30.00	73.00
8位	岩上 春満(中部会)	89	15.60	73.40
9位	太田 一司(四国会)	95	21.60	73.40
10位	呉 幸哲(近畿会)	95	21.60	73.40

レーションがあり、池が効果的に配置され、戦略性が豊かとのこと。参加者の皆様は「日本庭園とコースが調和した優雅な絵画を思わせる18ホール」を持つ関西屈指の名門ゴルフ倶楽部で競技を楽しみました。

# 記念旅行

参加者 65名

今回の記念旅行は、大阪府を經由しながら和歌山県と兵庫県を中心に3日間かけて巡るコースでした。

初日は、和歌山県の観光名所の一つ、高野山を訪れ、大門、金剛峯寺、奥之院などを巡りました。高野山は平安時代初頭に弘法大師によって開かれ、御誕生1250年にあたる年に日本仏教の聖地として知られます。歴史を学ぶとともに、高野山内の宿坊「福智院」で昼食後、奥之院を散策しました。

2日目はまず西国観音霊場第二番札所の紀三井寺を訪問。次に深山砲台跡を見学し、砲台跡すぐ近くの絶景ポイント

では友ヶ島や明石大橋などを望みました。その後、大阪府堺市内の堺の人々の歴史と文化を紹介する博物館「さかい利晶の杜」と「堺伝匠館」を訪れました。

最終日は『日本書紀』に記載がある中では全国で最も古い神社の伊弉諾神宮へ。その後、明治8年創業の酒屋「千年一酒造」の酒蔵と北淡震災記念公園に立ち寄り、淡路島の海の景色が楽しめるレストラン「青の舎」でお昼を摂りました。淡路島での観光を楽しみ、神戸市内の舞子海上プロムナード、橋の科学館を巡り、新神戸駅にて散会となりました。



1:初日は弘法大師によって開かれた日本仏教の聖地とされる高野山を散策されました 2:高野山内にある宿坊「福智院」で優雅な昼食を摂りました 3:その他、大門、金剛峯寺、奥之院なども巡りました 4:深山砲台跡を見学しました 5:「さかい利晶の杜」と「堺伝匠館」を訪れ、大阪・堺の歴史と文化に触れました 6:最終日は伊弉諾(いざなぎ)神社の散策からスタート 7:参拝後は創業明治8年の酒屋「千年一酒造」の酒蔵を見学しました 8:淡路島を思う存分巡り、北淡震災記念公園に寄り、レストラン「青の舎」でお昼を摂りました



「この1枚」が、ビジネスソリューションになる。



SAISON PLATINUM BUSINESS AMERICAN EXPRESS® CARD

年会費 22,000円(税込)

## ビジネスの課題を解決する4つのポイント

- 01 プライベートと分けて  
経費処理の仕分けを不要に
- 02 ビジネスユースに対応する  
ゆとりのご利用枠
- 03 貯まったポイントやマイルを  
活用して経費削減に
- 04 プラチナカードならではの  
ご優待サービス

お申し込み・  
詳しくは

<https://www.saisoncard.co.jp/amextop/sbs-new-pn/?P5=7GX>

